

2016年(平成28年)6月28日(火)

# 箱根旧街道 マツカレハ大発生

る。時間がかかっても元の姿に戻したい」と話した。

市は1994～97年

三島市の国史跡・箱根旧街道(旧東海道・国道1号)の錦田一里塚(同市谷田・川原ヶ谷)周辺で、ガの幼虫マツカレハによる松並木の食害が深刻化している。街道沿いの約900本にわたって残る松約360本のうちの半数が赤く変色し、うち10本が枯死寸前になった。江戸幕府の五街道整備で約400年前に植えられて以来、街道を行き交う旅人を雨風や日差しから守ってきた松並木を残そうと、市が27日に薬剤を散布した。

【垂水友里香



石畳に落ちていたマツカレハの幼虫＝三島市で

## 名物・松並木ピンチ

### 半数が赤く変色 枯死寸前10本

「石畳を歩けば毛虫は寂しい」と話した。

27日は午前4時ごろから2時間半かけて、市の委託を受けた市内の造園業「大楽園」が噴霧機で消毒剤450リットルをまいた。大楽園経営者は「松並木は当時約450本あったが、その後、病害虫や排ガスの影響で減った。市教委文化振興課は「旧東海道の松並木は三島の誇り。市民の関心も高く、守っていきたい」と話している。

がぼたぼた降ってきた。市は昨年10月ごろ、25年ごとに暮らしているけど初めて」。マツカレハの大量発生に気づき、11月に薬剤を散布した。しかし、松並木沿いに住む会員の木村徳男さん(59)は声を落とす。15年来清掃に取り組ん

### 三島市 保存へ薬剤散布

その後、病害虫や排ガスの

できた「松並木と一里塚及び石畳を守る会」期で効果は限定的だった。越冬を終えたマツカレハは春から活発に葉を食べ始め、被害が拡大したという。

営の大村徳夫さん(63)は「葉を食べられ、松がすぐに枯れるわけではない。しかし、変色した葉が元の緑に戻るまでには何年かか



箱根旧街道の松並木。茶色の葉が目立ち、石畳にはマツカレハの幼虫がたくさん落ちていた＝三島市で